

8月17日、桂原公民館（不知火町）で、福祉座談会が行われました。

福祉のまちづくり専門アドバイザーの佐伯謙介さんを講師に迎え、市内各地区の年齢構成や生活の現状などをスライドを使い具体的に説明。

3班に分かれグループワークを開き、日頃困っていることやその解決策などについて話し合いました。桂原区は40戸ほどの小集落で顔見知りが多いこともあり、現状やさまざま問題点など積極的な意見が多く出され、各班ごとにその内容や検討結果を発表しました。

桂原区長の森昭則さんは、「今までは定例的な役員会などを開いてきたが、今後は行事がない時も皆が集まり、話を聞く場を設けていきたい」話しました。